

## 四十周年記念講演会開催 矢野きよ実トークショー

十月二日（金）に今池ガスホールにおいて、愛知県農業土木測量設計技術研究会の四十周年記念講演会を開催しました。

最初に当研究会で作成した「あいちの農業」を紹介するビデオクリップ上映、吉永会長挨拶、東三河農林水産事務所長土方英二様のご祝辞、記念講演、最後に農林水産部農林基盤局長山本信介様のご祝辞をいただき、来場者約三百名を迎えて、盛況に終えることができました。講演者には、愛知県で知名度のある方との思いから、名古屋出身のラジオパーソナリティで書道家の矢野きよ実さんにお願いしました。

講演は、「生きている 生きてやる 生きていたい 君のために」と題して、東日本大震災でのボランティア活動で、「書」を通してふれあつた被災地の子供達の今の思いを書いた作品を示し、お話を聞いていただきました。大変につらく悲しい話が多く、改めて大震災の恐ろしさを考えさせられました。講演の最後に壇上にて「生きているこの町であなたと今日もいい日になりますように」と書の実演をしていただき、作品は来場者の方にプレゼントされました。

また、当研究会の農業農村整備PR活動において、子供達に書いていただいた「十年後（2025年）のぼく・わたし」の短冊を会場に展示しました。



講演Ⅱ部は、「農地中間管理事業について」と題して、農林水産部農林基盤局農地計画課主査 松崎則明様に貴重なご講演をいただきました。

また、当研究会が四十周年を迎えるにあたり、測量実体験に参加した子供達に、「十年後（2025年）のぼく・わたし」と題した内容で、短冊に将来の夢や希望を約七十名の方に書いていただきました。

当研究会の吉永会長挨拶に続き、ご来賓の農林水産部農林基盤局農地整備課主幹尾畠厚志様のご挨拶をいただきました。講演Ⅰ部は、若手技術者が関与した農業農村整備事業の測量・設計及び調査に係る広範囲からの技術テーマで発表を行い、農業土木技術者としての知識の研修・普及に努めることを目的として、会員会社から五社の若手技術者が講師として講演を行いました。



## 平成二十七年度 農業農村整備PR活動 開催

## 平成二十七年度 技術研修会パート1 開催

八月一日（土）に愛・地球博記念園（モリコロパーク）にて、愛知県・愛知県土地改良事業団体連合会他の主催により、

「あいちの農業」を紹介するビデオクリップ上映、吉永会長挨拶、東三河農林水産事務所長土方英二様のご祝辞、記念講演、最後に農林水産部農林基盤局長山本信介様のご祝辞をいただき、来場者約三百名を迎えて、盛況に終えることができました。

当研究会では、昨年に引き続き、測量機器への触れ合いを通じて、多くの子供達と保護者の方々に測量への理解を深めていただくことを目的に参加型イベントとして「測量実体験コーナー」を開設しました。当日は気温三十度を超える暑い日にもかかわらず、多くの方に体験していただきました。

また、当研究会が四十周年を迎えるにあたり、測量実体験に参加した子供達に、「十年後（2025年）のぼく・わたし」と題した内容で、短冊に将来の夢や希望を約七十名の方に書いていただきました。

### 【演題・講師（敬称略）】

①「バイオラインにおける内水圧の考え方と管路設計手法について」  
佐藤 裕司

②「小水力発電施設の設計事例について」  
（株）アイエスシイ  
若鈴コングサルタンツ（株） 鎌木 悠平

③「排水機場の仮設計画について」  
協和調査設計（株）  
松原 徹  
④「国営造成農業用ダムにおける耐震性能照査について」（株）三祐コンサルタンツ（株） 限元 寿樹  
⑤「相關法によるバイオライン漏水調査の現状と事例」 NTCコンサルタンツ（株）

利根川陽一